

ユナイテッド・オーバーシーズ銀行(UOBH)

金利収益、非金利収益ともに好調、一任勘定の運用資産残高が前年比3倍

シンガポール | 銀行 | 業績レビュー

BLOOMBERG UOB:SP | REUTERS UOBH.SI

- 2017/12 期 4Q (10-12 月) は総収益が前年同期比 13.8%増の 23.07 億 SGD、営業利益は同 12.5%増の 12.05 億 SGD、純利益は同 15.7%増の 8.55 億 SGD となった。
- 貸出の増加や利鞘の改善により純利息収益が増加。手数料ビジネスやトレーディング収益も好調であった。
- 2018/12 通期の市場予想は、総収益が同 8.3%増の 95.85 億 SGD、当期利益が同 14.7%増の 38.87 億 SGD。

What is the news?

2017/12 期 4Q (10-12 月) は総収益が前年同期比 13.8%増の 23.07 億 SGD、営業利益は同 12.5%増の 12.05 億 SGD、純利益は同 15.7%増の 8.55 億 SGD となった。純利息収益は、同 14.5%増の 14.61 億 SGD となった。金利上昇などが寄与し純金利マージン (NIM) が前年同期から 12 ベーシスポイント改善し 1.81%となった。非金利収益は前年同期比 12.5%増の 8.47 億 SGD となった。富裕層向けビジネスやアセットマネジメント、クレジットカードなどが伸び、受取手数料が同 10.2%増の 5.85 億 SGD となったほか、トレーディング純収益や投資収益が好調で、その他非金利収益が同 18.0%増の 2.61 億 SGD となった。一方、総費用は同 15.2%増の 12.05 億 SGD と増加。変動費の他、業績連動型賞与や IT 関連の支出が響いた。経費率が 47.8%と 2016/12 通期の 45.9%から悪化。

貸出残高は前年同期比 4.5%増の 2,322 億 SGD。主力のシンガポールが同 1.7%増となったほか、タイが同 13.2%増、中国が同 18.6%増となるなど海外の伸びが大きかった。預金残高が同 6.8%増の 2,600 億 SGD と順調に拡大。LDR (預金残高に対する貸出比率) は 85.1%と前年同期の 86.8%から 1.7 ポイントの改善となった。不良債権比率は 2017/12 末で 1.8%と前年同期の 1.5%に対してやや悪化した。引き続き良好な財務体質を維持している。

How do we view this?

2018/12 通期の市場予想は、総収益が同 8.3%増の 95.85 億 SGD、当期利益が同 14.7%増の 38.87 億 SGD。2/21、同社は 2017 年にプライベートバンキング部門の一任勘定ポートフォリオ管理 (DPM) の運用資産残高が前年比 3 倍になったと発表した。これにより富裕層向け運用資産残高は 1,040 億 SGD となった。DPN は、顧客と基本方針のみ合意し、個々の取引については全面的に委託を受け、同社の判断の下で売買を行う運用サービスである。

業績推移

※参考レート 1SGD=80.93円

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
総収益 (百万SGD)	8,047	8,061	8,849	9,585	10,332
当期利益 (百万SGD)	3,208	3,096	3,390	3,887	4,299
EPS (SGD)	1.93	1.85	2.03	2.33	2.55
PER (倍)	14.26	14.88	13.56	11.81	10.79
BPS (SGD)	17.84	18.82	20.37	22.46	24.04
PBR (倍)	1.54	1.46	1.35	1.23	1.14
配当 (SGD)	0.70	0.70	0.80	0.92	0.98
配当利回り (%)	2.54	2.54	2.91	3.34	3.56

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (SGD) **0.92** (予想はBloomberg)
終値 (SGD) **27.52** 2018/2/22

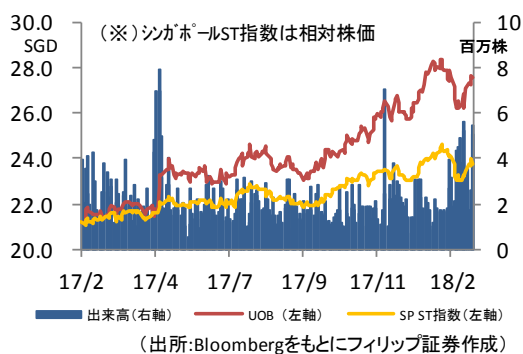
会社概要

1935年設立のアジアのリーディング・バンク。当初は福建省のコミュニティ向け「ユナイテッド・チャイニーズ銀行」として設立されたが、1965年に名称を変更。買収なども通じ、国際的な金融機関となった。ムーディーズの格付けがAa1、S&Pの格付けAA-と、世界のトップバンクに位置付けられている。個人向け金融サービス、プライベートバンキング、商業銀行、投資銀行、コーポレートファイナンス、資本市場業務、信託業務、ベンチャーキャピタル、資産運用、保険、株式・先物取引の取次など幅広い金融サービスを提供する。

シンガポールでは、クレジットカード、民間住宅ローンのマーケットリーダーであり、中小企業向けローンにおいてもキープレーヤーである。資産運用を担うUOBアセットマネジメントは、シンガポールで最も高い地位を誇るファンドマネージャーの1つである。グループ傘下には、シンガポールのファイブスター銀行、ユナイテッド・オーバーシーズ銀行(マレーシア)、ユナイテッド・オーバーシーズ銀行(タイ)、PTバンクUOB インドネシア、ユナイテッド・オーバーシーズ銀行(中国)等がある。グループは、アジア太平洋地域、西ヨーロッパ、北米の19の国と地域に500以上のオフィスを持つネットワークを形成する。

企業データ (2018/2/23)

ベータ値	1.16
時価総額(百万SGD)	46,317
企業価値=EV(百万SGD)	-
3か月平均売買代金(百万SGD)	65.7



主要株主 (2018/2)

株主	(%)
1. Wee Investments PTE LTD	7.71
2. Wah Hin & Co PTE LTD	5.04
3. Vanguard Group	1.95

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾
togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707
庵原 浩樹
hiroki.ihara@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。